

佐久穂町の既存近代建築物再考によるまちづくり ～景観保全及び活性化事業

取組に至る背景・事業の目的

- 佐久穂町穂積には明治初期に建てられ、古い醸造施設や美しい庭を備えた旧マルト醤油店をはじめとした歴史的建築物が現存している。
- この歴史的な建築物や街並み、文化への興味が地元で希薄になっている現状を憂い、地域住民を交え学習、調査、活用することにより、地元への関心と景観への愛着心、郷土愛を醸成するとともに、住民自らが街づくりへ参加できる環境の整備を目指す。



【ジャズコンサート】

事業内容

- 平成 24 年度に歴史的建築物及びそれを形成してきた文化に対する調査・報告や清掃ボランティア、景観を学ぶ授業等を信州大学との協働により実施した。25 年度は調査等を行った建築物を利用しつつ実践活動を行った。
- 旧マルト醤油店舗及び工場を利用したジャズコンサート及びライトアップイベント「光と蔵」の開催
 - 地元小学生と信州大学生による地元探検町歩き及びワークショップを実施



【ライトアップイベント】

事業効果

- 地域に存在する建築物・景観の価値やそこに大きな可能性があることを町内外に広く周知することができた。
- 地元の小学生による灯籠制作による参加や役場職員の協力、地域住民の協力・積極的同意など「住民参加によるまちづくり」を実現することができた。
- 本事業は、県内外で高く評価され、建築士会による地域実践活動の最高賞である「日本建築士会連合会会長賞」を受賞するなどモデル的な事例として全国的に発信された。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 大学生が参加して、行政や地域と融合することにより斬新なアイデアや柔軟な想像力を取り入れた企画を実施することができた。
- 建築士会と大学生により光の当たることの少なかった地域に大きく強い光を当てることができた。これを「セットアップ」とするならば、地域の景観に価値を見いだした住民や、建物を活用したいという意志を持った個人へ対する「バックアップ」としての役割を担いつつ、佐久穂町を地域活動の実践や地域活性化の模範地区として積極的に外部へ発信していきたい。

【選定のポイント】

町内の歴史的建造物を利用して、ライトアップイベントやジャズコンサートを開催し、建造物が貴重な財産となりうることを知らしめた。(イベント参加者延べ 800 名) また、実施にあたって地域住民をはじめ、信州大学生の参画や小学生による灯籠づくり・地元探訪ツアーの実施など、協働による地域づくりの先駆的・モデル的な手法となった。

団体名 一般社団法人長野県建築士会佐久支部
(佐久市)

連絡先 0267-63-8080

ホームページ <http://aba-saku.com/>

メールアドレス ken8080@seagreen.oce.ne.jp

事業タイプ ソフト事業

事業費 1, 523, 967円

支援金額 1, 096, 000円